



2017年3月28日

アウディ ジャパン株式会社  
プレス問い合わせ 03-5475-6309  
<https://www.audi-press.jp/>

お客様問い合わせ 0120-598106  
アウディ コミュニケーションセンター

## 新型 Audi TT RS Coupé & Audi TT RS Roadster

### 最高レベルのドライビングプレジャー

最高出力400hp、0-100km/h加速3.7秒。新型 Audi TT RS Coupé / Roadster は、新開発オールアルミ直列5気筒を搭載して、圧倒的なパフォーマンスを実現しています。アウディの量産モデルとしては初めて、テールライトに OLED（有機発光ダイオード）を採用しました（オプション）。これは、アウディ パーチャル コクピットや、最新のインフォテイメントシステムなどとともに、アウディのブランドスローガンである「Volsprung durch Technik」（技術による先進）を具現したテクノロジーのひとつといえます。

Audi Sport GmbH 代表のシュテファン ヴィンケルマンは次のように述べています。「今回新たに開発されたターボ付き直列5気筒エンジンは1980年代から続く伝統を受け継ぐエンジンで、ドライバーの感性を刺激するユニットに仕上がっています。新しいAudi TT RSは400hpのパワーを誇り、革新的なテクノロジーによって、優れたドライビングプレジャーと効率を両立させています。」

#### かつてない軽さとパワー：新しい2.5 TFSI エンジン

アウディの直列5気筒エンジンは、長い伝統を誇る最先端のエンジンです。なかでも2.5 TFSIは、各国のジャーナリストから構成される審査委員会によって、6年連続で「エンジン オブ ザ イヤー」に選ばれてきました。今回アウディは新型 Audi TT RS のために、まったく新しいターボ付きユニットを開発しました。この新しい2.5 TFSIは、排気量は2,480ccと従来と同じながら、パワーは17パーセントも高い294kW（400hp）を実現しています。これは、リッターあたり出力161.3hpに相当します。また、最大トルクの480Nmも、1,700~5,850rpmというきわめて幅広い回転域で発生します。その結果、新型 Audi TT RS Coupe は、0-100km/hをわずか3.7秒で加速します（Roadsterは3.9秒、欧州仕様値）。最高速度は、標準仕様ではリミッターにより250km/hに制限されています。

新しい2.5 TFSIは全長50cmに満たない非常にコンパクトな設計となっており、従来型と比べて26kgも軽量化されています。クランクケースはアルミ製で、この部分だけで18kgの重量を削減しています。結果として新型 Audi TT RS は車両重量が軽くなっているだけでなく、前後の重量配分もより理想に近づきました。また、様々な新機構の採用により、内部抵抗を減らすと同時にパワーも向上しています。

シリンダーバレルにはプラズマコーティングを施し、クランクシャフトのメインベアリングの径を従来型に比べて6mm小さくしています。また、クランクシャフトを中空タイプとすることで重量を1kg削減しました。アルミ製のピストンには冷却オイルを通す経路を設けています。切り替え式のウォーターポンプにより、冷間始動後のしばらくの間、シリンダーヘッド内のクーラントの循環を止めて、暖気時間を短縮しています。この設計により摩擦による損失も低下し、燃料消費量が削減されています。実際、新型 Audi TT RS は性能が向上しているにもかかわらず、燃料消費量はCoupéで100km走行当たり8.5ℓに過ぎず、Roadsterも8.8ℓに抑えられています。

新しい2.5 TFSIユニットが卓越した高性能を発揮する上で、重要なカギとなっているのが吸排気系の設計です。大型のターボチャージャーにより、最大1.35バールの過給圧が確保されています。インタークーラーの効率を80%まで向上させることで吸気温度を下げ、酸素の充填率を可能な限り最大化してい

ます。カムシャフトは吸気側も排気側も必要に応じて調整可能です。排気側については、アウディバルブリフトシステム (AVS) により、スロットルとエンジン回転数に応じて、バルブが開いている時間を2段階 (低回転及び部分スロットル/ゆっくりとしたスロットルレスポンス時の通常ポジション、フルスロットル時に駆動力を高めるポジション) で制御しています。また、混合気の生成を促進するためにデュアルインジェクションシステムを採用しました。このシステムは、燃料をインテークマニフォールドの中に噴射する (ポート噴射) か、直接燃焼室内に噴射する (直噴) か、選択することができます。エンジンの作動状況に応じて、燃料噴射の方式 (ポート噴射または直噴) だけでなく、噴射の角度、持続時間も最適に制御します。

アウディの直列5気筒エンジンでは、点火インターバルが144度に設定されており、1-2-4-5-3の順番で、隣り合っているシリンダーと距離の離れているシリンダーが交互に点火されます。それにより、5気筒独特のリズムが刻まれ、このエンジンならではの個性が創出されています。シリンダー数が奇数であることで、独自のエンジンサウンドを伴うハーモニックな共鳴が生み出されています。エンジンの制御ユニットもまたこのサウンドに一役買っています。スロットル開度が大きくなると、排気システムのフラップが開いて、サウンドのボリュームが高まる仕組みになっています。ちなみに、標準仕様のRSエグゾーストシステムでもドライバーがセンターコンソールにあるサウンドボタンを押すことで、排気フラップの働きをコントロールすることができます。

#### **非常に素早いギヤチェンジ：7速Sトロニック**

新型 Audi TT RS は、全モデルに非常に素早いギヤチェンジを実現する7速ティプトロニックを標準装備しています。このデュアルクラッチトランスミッションは、高い伝達効率と幅広いギヤレシオが特徴で、低速側のギヤが加速を重視して比較的低位に設定されているのに対し、トップの7速ギヤは高速巡航時の燃費を向上させるために高めの設定になっています。トランスミッションオイルの温度は熱交換プレートが制御しており、プロペラシャフトへの駆動角度を見直すことで、従来型に対して重量を約2kg削減しています。ドライバーはセレクターレバー及び標準装備されるスポーツレザーステアリングホイールに設置されたシフトパドルを使用することによって、いつでもマニュアルで変速することができます。スタート時にはローンチコントロールシステムがホイールの空転を最小に抑えて、強烈な加速を実現します。

#### **敏捷性なハンドリングと卓越したスタビリティ：quattro ドライブシステム**

新型 Audi TT RS は、全モデルに quattro フルタイム 4WD システムを採用しています。コンパクトかつ軽量な電子油圧制御式の多板クラッチをプロペラシャフトの後部に設置することで、前後の重量配分を最適化しています。quattro システムを制御する新しいソフトウェアは、後輪に送るトルクを常時算出しています。従来型の Audi TT RS と比較すると、より精密な制御が行われ、運転状況の制御もより正確に実施できるようになっています。その結果、Audi TT RS はより敏捷な運動性能を発揮します。システムのソフトウェアは、後輪の駆動トルクを記録し、それに基づいて電子制御のオイルポンプを制御するのに必要な電力を算出します。このようにして生み出された油圧により、多板クラッチのプレートどうしが最大40バールの力で押し付けられ、後輪へ駆動力が伝達されます。

新型 Audi TT RS が高速でコーナリングする場合には、クラッチが部分的に接続されて後輪に駆動力が送られます。負荷が変わっていく間に、Audi TT RS が狙い通りコーナーに入っていけるよう、トルク配分が調整されます。摩擦係数の低い路面上でドリフト状態になった場合でも、システムの働きにより、ドライバーがコントロールを失うことを軽減します。

限界付近では、quattro システムは、エレクトロニックスタビライゼーションコントロール (ESC) のインテリジェントなソフトウェア機能のひとつである、ホイールセレクトィブトルクコントロールと緊密に連携して働きます。すなわち、コーナーに対して内側にある2つのホイールに優しくブレーキをかけることで、ハンドリングをより正確で安定したものにします。また、ドリフト状態に入ってもコントロ

ールが容易になるよう、Audi TT RS の ESC には、このモデル専用のスポーツセッティングが設定されています。さらにボタン操作により、ESC の働きを完全にキャンセルすることも可能です。

多板クラッチの電子制御システムは、Audi TT RS としては初めてアウディドライブセレクト ドライビングダイナミクスシステムに一体化されました。アウディドライブセレクトには、comfort、auto、dynamic、individual の 4 つの走行モードが設定されています。各モードを選択することで 7 速 S トロニック、ステアリング、エンジン特性、及び排気フラップの制御プログラムを調整することができます。例えば、dynamic モードを選ぶと、多板クラッチはより早いタイミングでより多くのトルクを後輪に配分するようになります。また、individual モードでは、前述の各システムや各テクニカルコンポーネントの特性をドライバーの好みに合わせて自由に設定することが可能です。

### 最高のドライビングプレジャーを得るためのテクノロジー：RS スポーツサスペンション

高度に洗練された 4 リンク式リヤサスペンションを採用したシャーシに的を絞った改良を施すことで、よりダイナミックで正確なハンドリングが実現しています。新型 Audi TT RS は極めて自然な挙動でコーナーに進入し、路面の状態をダイレクトに伝えてくるステアリングによって、コーナリング中も落ち着いてコントロールすることができます。また、舵角が大きくなるほどレシオが速くなるプログレッシブステアリングには、RS 専用のスポーティなチューニングが施されています。

通常の TT と比べると、スプリングとダンパーはより硬めに設定されており、車高も 10mm 低くなっています。このサスペンションは、電子制御の可変ダンパーを使ったアウディマグネティックライドを採用しており、アウディドライブセレクトを介して、減衰特性を変化させることができます。

新型 Audi TT RS Coupé / Roadster は、いずれも 5 アームポリゴンデザインの 19 インチホイールと 245/35 タイヤが標準装備されます。ブレーキシステムも非常に強力な仕様に変更されています。前輪には、370mm 径のベンチレーテッド&パーフォレイテッド ディスクを採用しています。熱を素早く放散するためにステンレス製のピンを使って、フリクションリングとアルミ製ブレーキディスクチャンパーを接続しています。RS のロゴが刻まれた 8 ピストンブレーキキャリパーには、ブラックのペイントが施されます（オプションでレッドも選択可）。

前輪のブレーキディスクは、オプションでカーボンファーターセラミック製も用意されています。非常に軽く、耐摩耗性にも優れたこの仕様を選択した場合には、ブレーキキャリパーがグレーにペイントされます。後輪のブレーキは、全モデル 310mm 径のソリッドディスクを採用しています。

### アウディの量産モデルでは初のマトリクス OLED テールライト

新型 Audi TT RS には、LED テールライトが標準装備されます。またオプションでアウディの量産モデルでは初の革新テクノロジーである、マトリクス OLED（有機発光ダイオード）を用いた 3D デザインのテールライトを用意しています。その平たいライトはきわめて均質で、明確なコントラストを持ち、部分的に明るさを調整することも可能です。また、いかなるシャドウを生み出すことなく、リフレクターもライトガイドも必要としません。その結果、消費電力が少なく、ライトユニットの重量を軽減することができます。

左右のテールライトユニットのそれぞれに、外側になるほど小さくなる薄いライティングエレメントが 4 つずつ配置されています。そのうち、もっとも大きなエレメントには TT のロゴとアウディの 4 リンクスが描かれています。イグニッションを ON にしたときに見られる光のショーは壮観です。まず、テールライト内の 4 つそれぞれのライティングエレメントのなかで光が一周します。その後、矢の形をした、視覚的に均質な LED ライトガイドが点灯します。このガイドも OLED テールライトの構成要素のひとつとなっています。ライトユニットの下端には、ドライバーが曲がりたい方向に光が走る「ダイナミックターニングシグナル」が設置されています。上方には、リフレクター、リバーズライト、リヤフォグライト

が配置されています。

### スポーティさを演出したデザイン

新型 Audi TT RS Coupé / Roadster のダイナミックなキャラクターは、エクステリアでも分かりやすく表現されています。全長 4.19m、全幅 1.83m、全高 1.37m という 3 つの数字を見るだけで、このモデルのスポーティなプロポーションが想像できるでしょう。アウディのデザイナーは、オリジナル Audi TT が備えるタイムレスでピュアなラインを残しながら、同時にデザインの多くの部分について新たな解釈を試みています。このようにして、TT RS のエクステリアには独自のハイライトが付け加えられています。

下端に quattro のロゴを配した大型のシングルフレームグリルは、ハニカムグリルを採用したことで、さらに存在感が高まっています。同じハニカムグリルは、背後に追加のウォータークーラーを配したエアインテークにも使われています。サイドインテーク部分は力強く隆起した縁取りで囲まれ、少しだけ傾いた垂直バーにより一部が分割されています。一方、中央のエアインテークは左右に翼を広げたような形状をしたブレードで囲まれています。ヘッドライトはハイビームの光をインテリジェントかつフレキシブルに制御するマトリクス LED ユニットを採用しています。

新型 Audi TT RS のリビューで強烈な印象を放っているのは、細い 2 つのダブルストラット（ステイ）を介してテールリッドに設置されたリヤウイングです。大胆な形状をしたリヤバンパーの下方には、4 つの縦方向のフィンを備えたディフューザーインサートと、その両側の、大きな楕円形をしたテールパイプが配置されています。また、ボディサイドを見ると、サイドシルがエアロダイナミクスに考慮した特別なデザインとなっています。その効果もあって、新型 Audi TT RS は Coupé で 0.32、Roadster でも 0.33（欧州仕様参考値）と、このカテゴリーのクルマとしては非常に良好な Cd 値を達成しています

エクステリアカラーは Coupé、Roadster とともに、全部で 8 色設定されており、そのうちカタルーニャレッドメタリックは RS 専用色です。

### 徹底した軽量設計のボディ

複合構造のコンセプトを導入した新型 Audi TT RS のボディは、アウディ スペース フレーム (ASF) の新たな進化の段階を象徴するものです。フロントエンドと乗員コンパートメントのフロア部分には、熱間成形スチールコンポーネントが多用されています。これは薄い板厚でも非常に高い強度を確保できるため、その分重量が軽くなっています。乗員コンパートメントの骨格部分とすべてのボディパネルには、アルミニウムを使用しています。これらの部位には必要に応じて、半仕上げの鋳造ノード、押し出し材、シートメタルといった異なるコンポーネントが使用されています。

新型 Audi TT RS Coupé の空車（ドライバー非乗車時）重量は 1,490kg です。パワーウエイトレシオは 3.7g（最高出力は 400hp）に過ぎません。新型 Audi TT RS Roadster はオープンボディを補強しているため、空車重量は 1,560kg となりますが、敏捷性に影響を与えるソフトトップの重量はわずか 39kg に抑えられています。パワーウエイトレシオは 3.9kg。このソフトトップは電動によってわずか 10 秒で開閉が可能で、50km/h 以下であれば走行中でも開閉することができます。また、電動ウインドデフレクターが標準装備されており、RS 専用のスポーツシートにはオプションでエアスカーフも装着することが可能です。

### インテリアの力強いアクセント

精悍さを強調した新型 Audi TT RS のエクステリアデザインは、インテリアにも反映されています。スリムなインストルメントパネルが備わったコックピットはクリーンなラインでまとめられ、整然としたレイアウトが印象的です。室内でとりわけ目立つのは、センターコンソールに並んだ丸形のベンチレーションノズルです。その中央部分には、オートマチックエアコンディショナーのコントロールスイッチが配置されています。軽量に設計されたヘッドレスト一体型の RS スポーツシートは、フロアに低く設置され、

サイドサポートの部分が大きく張り出した形状になっており、電動空気圧式のサイドサポート調整機能が装着されています。

RS スポーツシートの張地であるアルカンターラには、ダイヤモンドのパターンが刻まれ、バックレストにはRSのロゴが見ることができます。パーフォレーション（穿孔）加工を施した上質なナッパレザーのシート（同じダイヤモンドパターンを採用）を注文すると、スタイリッシュな印象がさらに高まります。このシートにはブラック/グレー、ブラック/レッド、ムリーリョブラウン/グレー、3つのカラーコンビネーションが用意されています。

デコラティブパネル、標準仕様がアルミニウムレースで、オプションでカーボン仕上げも注文することができます。2タイプ用意された「RS デザインパッケージ」を注文すると、エアベント、シートベルト、RS ロゴ入りのフロアマットなどにレッドもしくはブルーのアクセントが追加されます。そのほか、インテリアのハイグレード感をさらに高める様々なタイプのレザーパッケージが用意されています。新型 Audi TT RS は、高い日常性を兼ね備えたスポーツカーでもあります。2+2 の Coupé は、テールゲートの下に、容量 305ℓ のラゲージコンパートメントを備えています。2分割式のリヤシートバックを折り畳むことで、荷室容量を最大 712ℓ まで増やすことも可能です。また、Audi TT RS Roadster も、280ℓ のトランク容量を確保しています。

#### モータースポーツから流用された操作系

新型 Audi TT RS では、すべての操作がドライバー重視で設計されています。主要なすべての機能は、ドライバーがステアリングホイールから手を放すことなく、コントロールできるようになっています。標準装備されるシフトパドル付き RS スポーツレザーステアリングホイールには、お馴染みのマルチファンクションボタン類に加えて、2つの大きなサテライトボタンが装着され、エンジンのオン/オフ及びアウディドライブセレクトのモード選択を行えるようになっています。

同じく標準装備のオーディオ バーチャル コクピットもまた、レーシングカーのディスプレイを彷彿とさせます。12.3 インチの TFT スクリーンには高解像度の洗練されたグラフィックにより、あらゆる情報が映し出されます。

ドライバーは、3つのモードからディスプレイを選択することが可能です。クラシックビューを選ぶと、通常のアナログメーターのようにスピードメーターとタコメーターが大きく映し出されます。インフォテイメントモードにすると、ナビゲーションのマップが画面中央を占めるようになります。そして、RS モードにすると、中央にタコメーターが大きく映し出され、その下方に速度がデジタル表示されるようになります。トルク、出力、タイヤ空気圧、重力加速度といった値も、その傍らに表示することができます。また、オーディオ バーチャル コクピットにはエンジン回転数が許容限度に達したことをドライバーに知らせるシフト警告灯も備わっています。

#### インフォテイメントシステム及びその他の注目すべき装備

MMI タッチ付き MMI ナビゲーションは、オーディオが提供するハイエンドのインフォテイメントシステムです。フリーテキスト検索を含めたフラットな階層のメニュー構造は、スマートフォンのメニューをヒントにしています。さらに、「どこで給油ができる?」「ピーター ミラーに電話をかけたい」といった日常的な会話も聞き取る、先進的なボイスコントロールの機能も備わっています。Roadster のシートベルトストラップにはハンドフリーシステムのためのマイクが内蔵されており、高い音質によりボイスコントロールの機能をサポートします。

この MMI ナビゲーションを理想的な形で補完しているのが、Audi connect のモジュールです。この装置により、標準機能である高速 LTE を介して、ドライバーはオーディオ独自のインターネットサービスを利用できるようになり、他の乗員もモバイル機器を Wi-Fi ホットスポットに接続できるようになります。

新型 Audi TT RS では、合計 8 つのスピーカーが標準装備されます。さらに Bang & Olufsen サウンドシステムを選択すると、合計 12 のスピーカーが装着されウーファー周囲が LED 照明で飾られます。